

京都先端技術研究会 創立四〇周年記念式典のご案内

拝啓 秋冷の候 皆様におかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます
平素より格別のご支援を賜り 厚く御礼申し上げます
さて 本研究会は本年四月に創立四〇周年を迎えることができました この
節目の年を無事に迎えられましたのも ひとえに皆様方のご厚情の賜と 心より
深謝申し上げます 創立時の志を忘れず より一層の研鑽を重ねてまい
所存でございます 引き続きご指導ご鞭撻賜りますよう 何卒よろしくお願
申し上げます
つきましては 左記のとおり記念式典と小宴を開催いたします ご多用のところ
誠に恐縮ではございますが 何卒ご来臨賜りますようご案内申し上げます

敬白

令和七年十月吉日

京都先端技術研究会
委員長 中村 道一

記

日時 令和七年十一月十九日 十五時～十九時十五分

記念式典 十五時～十五時二十五分

記念講演会 十五時三十分～十六時四十五分

『政策提言A Iの作る未来像―企業戦略の観点から』
株式会社日立製作所 先端A Iイノベーションセンター 福田 幸二氏

記念祝賀会 十七時十五分～十九時十五分

会場 フォーチュンガーデン京都（京都市中京区一之船入町三八六―二）

電話 〇七五―二五四―八八三〇

地方独立行政法人京都市産業技術研究所内
京都先端技術研究会事務局
南 秀明
丸岡 智樹

◎勝手ながら同封の返信ハガキにて 令和七年十月二十三日迄にご都合をご返送いた
だきますようお願い申し上げます

京都先端技術研究会 創立 40 周年記念式典 次第

日 時：令和 7 年 11 月 19 日(水)15：00～19：15

場 所：フォーチュンガーデン京都(〒604-0924 京都府京都市中京区一之船入町 386-2)

記念式典 (15：00～15：25) フォーチュンガーデン京都 4 階 ザ メトロポールルーム

司会進行 京都先端技術研究会 副委員長 藤原 秀紀

開 会 の 辞	京都先端技術研究会 委員長	中村 道一
祝 辞	京都市長	松井 孝治
祝 辞	(地独)京都市産業技術研究所 理事長	西本 清一
来 賓 紹 介	京都市長 (地独)京都市産業技術研究所 理事長 京都合成樹脂研究会 委員長 京都工芸研究会 委員長 京都酒造工業研究会 委員長 京都セラミックフォーラム 会長 京都陶磁器研究会 委員長 鍍秀会 会長 西陣織物研究会 委員長 (株)日立製作所 京都先端技術研究会 監査委員(前委員長)	松井 孝治 西本 清一 末松 靖子 藤岡 春樹 大倉 博 西村 嘉浩 高島 慎一 野村 豊 山崎 清一郎 福田 幸二 吉田 典生
感 謝 状 贈 呈	(地独)京都市産業技術研究所 理事長	西本 清一
感謝状受賞者挨拶	京都先端技術研究会 監査委員(前委員長) 三和化工(株) 代表取締役社長	吉田 典生

記念講演会 (15：30～16：45) フォーチュンガーデン京都 4 階 ザ メトロポールルーム

司会進行 京都先端技術研究会 事務局 南 秀明

『政策提言 AI の作る未来像—企業戦略の観点から』

(株)日立製作所 研究開発グループ

先端 AI イノベーションセンタ 主任研究員 福田 幸二

記念撮影 (17：00～17：15) フォーチュンガーデン京都 3 階 ザ コンチネンタルルーム

記念祝賀会(17：15～19：15) フォーチュンガーデン京都 3 階 ザ コンチネンタルルーム

司会進行 京都先端技術研究会 事務局 丸岡 智樹

主催者挨拶	京都先端技術研究会 委員長	中村 道一
祝 杯	京都先端技術研究会 事務局長	廣岡 青央
閉 会 の 辞	京都先端技術研究会 副委員長	清水 謙司 (敬称略)

<記念講演講師 紹介>

福田 幸二 氏

(株)日立製作所 研究開発グループ 先端 AI イノベーションセンタ
主任研究員 博士(科学) 専門：複雑系科学、人工知能(AI)

略 歴

2005 年 東京大学大学院複雑理工学専攻修了。博士(科学)。

同年、(株)日立製作所中央研究所に入所。

主に大型計算機のアーキテクチャ設計・高速化および人工知能の研究開発に携わる。

2016 年より京大-日立の産学連携拠点である日立京大ラボに所属し、政府・自治体に向けて政策検討を行う政策提言 AI システムを開発。

超スマート社会(Society5.0)の実現および住民の Well-being 向上を目標に、各地の自治体で様々な実証に取り組む。最近では民間企業の意思決定支援への適用にも力を入れる。

講演概要

中長期的にわたる戦略的な意思決定を行うためには、将来の潜在的な機会とリスクを多角的に検討し、それらを踏まえて方針を定めることが求められる。そこで、起こり得る多数の未来シナリオを提示し、シナリオ間の分岐構造を可視化することで意思決定を支援する「政策提言 AI(未来シナリオシミュレータ)」を開発した。

本講演では、政策提言 AI の構成と、それを用いた 2050 年の日本および世界の持続可能性に関する検討結果について紹介する。さらに、比較的短期の意思決定を想定した生成 AI を活用するマイクロシミュレーションの取り組みについても紹介予定。